

授業科目名	Harmony & Theory I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Harmony & Theory I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、コンテンポラリーミュージックで必要とされる音楽理論を授業で行う。				
授業概要					
音楽の構造や楽典分析の仕方などを、理論立てて学ぶ。					
到達目標					
音楽を理論的側面から捉え、演奏や作編曲等に活用する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Notation Basics Major Scales
【前期】 7～10回目	Intervals Intervals Within and Beyond The Major Scale
【前期】 11～14回目	Further Study Of The Triad Chords And Major Triads
【前期】 15～18回目	Major Scale Harmony Chord Progressions Harmony & Theory 1 Review
【後期】 1～4回目	Notation Basics Time Signatures
【後期】 5～8回目	Major Key Triads Natural Minor Scales
【後期】 9～12回目	Minor Scale Triad Harmony Harmony & Theory 2 Midterm Review
【後期】 13～17回目	Minor Scale Harmony Diatonic Seventh Chords
【後期】 18回目	Harmony & Theory 2 Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Harmony & Theory 1, 2

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Ear Training I		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Ear Training I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、同校で教鞭を執る傍ら、西海岸エリアを中心にスタジオミュージシャンとしてのキャリアをスタート。現在は東京を拠点にアーティストへの楽曲提供、ライブやレコーディング、教則本の執筆をこなしている。前記経験を活かし、ミュージシャンとして必要とされる聴音能力を高め相対音感を身につける授業を行う。				
授業概要					
聴こえてくるメロディーやリズム、ハーモニーなどを声に出し、聴音力を鍛える。					
到達目標					
楽曲を聴き、五線譜への採譜する能力の修得。 複雑なメロディーやリズム、ハーモニー等の聴音力の向上。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	Pitch Major Scales/Sharp Keys Major Scales/Flat Keys
【前期】 7～10回目	Intervals Melodies Melodic and Harmonic Intervals
【前期】 11～14回目	Chromaticism Harmony
【前期】 15～18回目	Diatonic Harmony Try It All Together
【後期】 1～4回目	Meter And Rhythm Rhythmic Notation
【後期】 5～8回目	Sight Singing Transcribing Melody and Rhythm
【後期】 9～12回目	Midterm Review Melodic and Harmonic Intervals
【後期】 13～17回目	Triad Qualities Diatonic Chord Progressions
【後期】 18回目	Ear Training I Review
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	MI Bookstore Ear Training 1, 2

授業科目名	Reading I (Bass)		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Reading I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒。Sing Like Talking、絢香、PUFFY、森山直太郎、近藤真彦、Kinki Kids、嵐、岡本真夜などライブ・レコーディングでサポート。バンド「Lab-Siva」でも活動中。前記実践で得た経験を基に読譜のノウハウや演奏力向上の授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
楽譜を読むのが初めての人にも無理なく理解できるように基本的なリズムと限られたポジションから最終的には初見演奏にも対応できる技能の習得をめざす					
<b>到達目標</b>					
基礎的な読譜力の習得。オープンポジション及び5th Positionを使用した基礎的な演奏力の習得。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	読譜の基礎と五線譜上の音符、5～10フレット上の音名について、ポジションの概念・チャートリーディング、10～15フレット上の音名について				
【前期】 6～10回目	チャートリーディング・フォームの基礎、複雑なリズム・跳躍した音程の読譜、一般的なSong Formについて、1st～4thポジションについて・臨時記号の基礎について Gメジャーkey・メロディの基本				
【前期】 11～15回目	Key of G,Dのリーディング、フラットkeyのリーディング、読譜中の視覚的動作・様々なkeyのリーディング、付点音符のリーディング、5thポジションのリーディング				
【前期】 16～18回目	チャートリーディング・コード進行の度数による理解、16ビートのリーディング、リズムエクササイズ・コード進行のローマ数字での置き換え、調号と臨時記号が併用された譜面のリーディング・記譜法				
【後期】 1～5回目	5thポジションのリーディング、Key of B $\flat$ , E $\flat$ , A $\flat$ のリーディング、タイを使ったリズムリーディング、臨時記号について、オープンポジションのフラットKeyリーディング、オープンポジションと1stポジションについて、シンコペーションリズム				
【後期】 6～10回目	4thポジションのリーディング、Key of C,Gのリーディング、3rdポジションフラットKeyリーディング、Key of D $\flat$ , G $\flat$ 、1stポジションフラットkeyリーディング、key of G $\flat$ 、オープンポジションマイナーKeyリーディング、key of A minor, E minor、ハーモニックモデュレーション				
【後期】 11～15回目	4thポジションのリーディング:Keys of G,D, and modulations、フラット調号のリーディング:keys of F,B $\flat$ ,E $\flat$ ,A $\flat$ ,D $\flat$ , G $\flat$ 、オープンポジションマイナーキーの続き、Minor Tonalities、4thポジションkeys of A, D, G、5thポジションKey of F、オープンポジションKeys of E minor, D minor				
【後期】 16～18回目	6thポジションkey of A, E, B、5th ポジション Keys of B $\flat$ , E $\flat$ 、Minor Key: 2ndポジションkey of F#minor、3rdポジションkey of C minor、Octave Signs、6thポジションkey of B、5th ポジションkeys of E $\flat$ , A $\flat$ 、Minor Key: 1st ポジションkey of F				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Bass Reading 1, 2				

授業科目名	Communication in Japanese		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in Japanese	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	1991年AIONでメジャーデビュー。その後VOLCANOに参加し海外デビュー。また地獄カルテットでも活動している。教則本「地獄のメカトレ・シリーズ」のヴォーカル版「地獄のボーカルトレーニングフレーズ」を執筆。前記記載の海外での実績と経験を生かし、音楽業界でよく使われる日本語の授業を行う。また、会話でのコミュニケーションも行う。				
授業概要					
音楽活動で使われる日本語、日本人と日本語でよく使われる言葉を覚える。					
到達目標					
会話力を身につけ、様々な練習を通して音楽の現場でコミュニケーションやディスカッションができる事を目指す。					
授業計画・内容					
1回目	音楽活動で使われる日本語、機材などの名称、練習。				
2回目	日本語あいうえお～わをんの発音				
3回目	会話でよく使われる言葉を話す。				
4回目	全体の発音を音程で捉える				
5～9回目	日本語、会話からの応え方練習①～⑤				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書					

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Communication in English		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	Communication in English	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	バークリー音楽大学出身。BABY FACE、USHERの来日時にドラムを務め、安室奈美恵のバックコーラスとして、NHK紅白歌合戦にも出演。スティービー・ワンダーとセッションするなど、その活動は幅広い。前記、ミュージシャンとしてもキャリアがあり、ネイティブな講師が音楽をキーワードに英会話を行う。				
授業概要					
いままで学んできた英語を活用し、音楽現場でのコミュニケーションに使えるようになろう。語彙や文法などを一度抜きにして、とにかく英語を使ってコミュニケーションしてみる。					
到達目標					
会話力をつけ、様々な練習を通して音楽現場でコミュニケーション・ディスカッションができることを目指す。					
授業計画・内容					
1回目	授業説明。英語に慣れる。挨拶と自己紹介をしてみよう。				
2回目	身の回りの物について話してみよう。				
3～4回目	音楽について話してみよう。好きなアーティストや楽曲を紹介してみよう				
5回目	音楽用語について。音楽現場での会話について				
6回目	様々なコミュニケーションについて				
7回目	プレゼンテーションについて				
8回目	プレゼンテーション				
9回目	復習と総括				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が別途指示。主に講師作成のプリントを使用。				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	MusicBusiness		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則別表上表記	MusicBusiness	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(18単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	ベース/ドラム/ギター/ヴォーカルコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	MI TOKYO卒業後、音楽制作会社を起業し代表を務める。レコーディング・PAエンジニア、ポストプロダクションの実務経験は20年以上の経験を持ち。音楽のビジネスとは何か？を自身の起業の経験と業界で得た経験を活かし、音楽業界でのキャリアプランを形成する為の授業を行なう。				

授業概要	
音楽を通じビジネスを学びます。現代の音楽業界の多様化や変化を学習しながら、自分のキャリアを形成します。業界の仕組みや著作権、またWEBやSNSを活用したプロモーションなど多角的にアーティストの活動を理解していきます。	
到達目標	
音楽をインターフェースにビジネスを知る。個人事業主とは何かを知る。	

授業計画・内容	
1～2回目	音楽ビジネスとマネージメントについて学び、プロフィールを作成する。
3～4回目	音楽産業について学び活動計画を考える
5～6回目	デジタルツールの活用方法や音楽配信について学ぶ。
7～9回目	自分の価値の打ち出し方、事業や活動に関する予算等について、著作権とは。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	

授業科目名	Technique I (Bass)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Technique I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記記載の経験を活かし、演奏技術向上はもちろん様々なジャンルの演奏スタイルを学ぶ授業を行う。				
授業概要					
コンテンポラリーなベースプレイヤーとして必要なテクニックをさまざまな例題から学ぶ フィンガースタイルやスラップスタイルなど基礎となるスタイルや数々のグルーブをマスターしていく					
到達目標					
フレットボード上のすべての音を把握できるようにする					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	Posture, Playing Techniques, Fretboard Basics, Plucking Hand, Fretting Hand, Scales and Intervals, Cross-String Picking				
【前期】 6～10回目	Fretting Hand, Dexterity and Tone, Scales and Intervals, Playing with a Pick, Simple Intervals, Compound Intervals, Down-Stroke Picking				
【前期】 11～15回目	Two-Octave Scales, Scale Harmonization, Subdivisions, Melodic Phrasing, Ghost Notes, Extended Two-Octave Scale Fingering, Major Diatonic Triads				
【前期】 16～18回目	Attack Textures 1, Key Centers, Attack Textures 2, Fretboard, Key Center, Review				
【後期】 1～5回目	Thumb Plucking and Palm Muting, Melodic Development, Key Centers, Slap Bass, Melodic Development, Slap Bass: Expanding Rhythms, Melodic Development: Alternating Intervals				
【後期】 6～10回目	Augmented Triads, Slap Bass: Rhythmic Sequencing, The Natural Minor Scale, Slap Bass: Transposition, Fretboard, Slap Bass: Neck-Hand Slapping, Fretboard				
【後期】 11～15回目	Slap Bass: Single-String Thumb and Pop, Natural Minor Diatonic Triads, Fretboard, Slap Bass, Diatonic Seventh Chords, Chord Inversions, Slap Bass: Mathematical Phrasing				
【後期】 16～18回目	Diatonic Minor Seventh Chords, The Melodic Minor Scale, Slap Bass: Rhythmic Displacement, The Harmonic Minor Scale, Harmonizing the Melodic and Harmonic Minor Scales, Review				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Bass Technique 1, 2				

授業科目名	Performance I (Bass)		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Performance I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、アメリカ西海岸を中心にさまざまなアーティストをサポート。帰国後もバンドやアーティストサポートなど精力的に活動している。前期記載した現場での実践で得たアンサンブルワークのノウハウを授業にて行う。				
<b>授業概要</b>					
2日に渡り、ベーシスト視点から音楽史を代表するポピュラーな楽曲群をMI独自のテキストで再現。1日目は楽曲を世に残してきたアーティストのスタイルや時代背景等をPrepPerformanceの授業で学ぶ。翌日には前日の解説を元に実際にバンドでアンサンブル演奏を行いさらに深めていく。					
<b>到達目標</b>					
様々なジャンルの生演奏(アンサンブル)に対応可能となるスキルの習得を目指す。知識と楽曲のポイントを押さえつつ、まずはテキストの完全再現を行なう。その後、フルコーラス演奏の精度が上がったら楽曲の持つピックアップすべきフレーズの応用にも着手する。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	8ビートロックパターンを演奏する、ロックを演奏する R&Bを演奏する、ポップソングを演奏、カントリーミュージックを演奏する				
【前期】 6～10回目	ピックを使って演奏する、3/4拍子を演奏する、ブルースを演奏する 3種類のリズムパターンを演奏する、ファンクを演奏する				
【前期】 11～15回目	オクターブ奏法を学ぶ、変拍子を演奏する、ボサノバを演奏する 16分グランジロックを演奏する、スタックス・モータウンを演奏する				
【前期】 16～18回目	ジャズを演奏する、レゲエを演奏する スラップベースを演奏する				
【後期】 1～4回目	8ビートロックのベースライン、ブルースシャッフルロックの演奏 ヘヴィメタルベースライン、ソウルファンクベースライン				
【後期】 5～8回目	ヒップホップベース、ワールドビートベース 指弾きとスラップ奏法の切替、ストレートとスウィングの切替				
【後期】 9～12回目	サンバベース、ベースでコード弾き ハーフタイム・ダブルタイムの切替、同期との演奏				
【後期】 13～16回目	ユニゾンベースライン、ゴスペルベースライン 5/4拍子を演奏、シンセベースを弾く				
【後期】 17～18回目	6/4,6/8拍子を演奏する、マンボベースライン 7/4,7/8拍子を演奏する				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Bass Performance 1, 2, 3, 4				

授業科目名	Digital Audio Workstation I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Digital Audio Workstation I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	ロックを中心としながらさまざまなジャンルをこなすマルチベーシスト。アニソンやアイドル、声優やポップ、ロックなど幅広いアーティストのライブ、レコーディングに参加している。前記記載の経験を活かし、ソフトの操作方法から曲作りのノウハウ学ぶ授業を行う。				
授業概要					
Logic Pro Xの主要な機能や基本的な操作を学ぶ。					
到達目標					
実際の曲のイントロからエンディングまでの制作過程を体験する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～6回目	iMac及びLogic Pro Xの紹介 Apple Loops オーディオトラックの録音
【前期】 7～12回目	MIDIトラックの録音 Drummer(バーチャルドラム音源) オーディオトラックの編集
【前期】 13～6回目	MIDIトラックの編集 ミキシング
【前期】 17～18回目	ミキシングとオートメーション プレゼンテーション、Final Project提出
【後期】 1～4回目	詳細設定とビデオファイル オーディオトラックの録音
【後期】 5～8回目	MIDIトラックの録音 MIDIプラグインとドラムビート
【後期】 9～12回目	オーディオトラックの編集とスマートコントロール MIDIトラックの編集
【後期】 13～16回目	Apple Loopsとスマートテンポ タイムとピッチの編集
【後期】 17～18回目	アレンジとその他編集 ReviewとFinal Project
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
使用教科書	

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Keyboard proficiency I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Keyboard proficiency I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <span style="float:right">該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/></span>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業。帰国後バックミュージシャン・講師として活動中。 お台場合衆国「ONE PIECE MEMORIAL LIVE 2010」The Rootless、アカラ10周年記念コンサートなどで演奏。前記経験とMI Hollywoodの教科書を熟知した講師がミュージシャンにとって必要な鍵盤のアプローチを方法を授業にて行う。				
授業概要					
鍵盤を利用し、音楽理論のベースを構築しつつ、伴奏楽器の一つとして使えるようにする					
到達目標					
DTM使用の際の基礎的な鍵盤入力方法の習得。 キーボーディストの使うヴォイスイングやバックングパターンの理解。 DTM使用の際、キーボードを使用したバックング入カスキルの習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	スケール練習1～5				
【前期】 6～10回目	スケール練習6～10				
【前期】 11～15回目	コードの転回型1～5				
【前期】 16～18回目	コードの転回型6～9				
【後期】 1～2回目	4分打ちのバックング練習 サステインペダルを使用してのバックング練習				
【後期】 3～8回目	バックング練習1～6				
【後期】 9～11回目	バックング練習1～6の復習 シンセの音色を知る				
【後期】 12～16回目	バックング練習7～12				
【後期】 17～18回目	バックング練習7～12の復習 今までのバックング総復習				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Keyboard performance 1				

授業科目名	Rhythm Reading Workout		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Rhythm Reading Workout	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	ギター、ベース、ヴォーカル、ドラムコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	MI Hollywood卒業後、日本で活動を開始。エレクトリック、アコースティック問わず「歌モノとしてのギターアプローチ」を追求しており、そのギターワークは、国内アーティストのみならず海外のアーティストからも高い信頼を得ている。前記記載の経験を活かしグルーヴやリズム感を身につける授業を行う。				
授業概要					
基礎的な音楽シンボルの考察とリズムトレーニング					
到達目標					
様々なリズム譜でのトレーニングを通して根本的なリズム力を向上させる					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	基礎的な音楽記号の解説、大枠としてのリズムの考察・概念、8分音符のリズムの考察 道筋を表す譜面上の記号①、8分休符のリズムの考察				
【前期】 6～11回目	16分音符のリズムの考察、道筋を表す譜面上の記号②、16分休符のリズムの考察 ミックスリズムの考察、8分音符と16分音符のミックスリズムの考察				
【前期】 12～15回目	シンコペーションしたリズムの考察、ここまでの学習のレビュー・トレーニング 8分音符の3連符のリズム				
【前期】 16～18回目	2分音符及び4分音符の3連符のリズム、複合リズムを使用したリズムトレーニング リズム譜の考察と全体レビュー				
【後期】 1～5回目	タイを使ったリズム、付点音符と付点休符、タイと付点音符のミックスリズム				
【後期】 6～10回目	スウィングした8分音符、2/4拍子、3/4拍子、6/8拍子、ここまでのレビュー・トレーニング				
【後期】 11～15回目	6/8拍子の16分音符のリズム、16分音符の3連符とスウィングのリズム、カットタイム				
【後期】 16～18回目	変拍子、不規則な拍子記号について、5/8拍子、7/8拍子、全体のレビューとトレーニング				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	MI Bookstore Rhythm Reading Workout 1, 2				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Live Playing Workshop I		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則別表上表記	Live Playing Workshop I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置学科コース	全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	各曜日ごと各ジャンルごとのアンサンブル授業に当校の音楽ジャンルや音楽スタイルに精通したキャリアを持つ講師を授業ごとに5～6名を配置し授業を行う。				
<b>授業概要</b>					
課題曲を用いて本番を想定した、ステージ上で行われるバンドアンサンブルの授業。音楽のスタイルやジャンル別に、毎日行われている。各パートの講師がアンサンブルや演奏に関してのレクチャーを行う。					
<b>到達目標</b>					
バンドアンサンブルの技術やステージでの経験値を上げる。様々なジャンルやスタイルの音楽を身につける。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【前期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 1～5回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 6～10回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 11～15回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
【後期】 16～18回目	Funk, Soul, R&B, Jazz, Blues, JamSession, Fusioin, Rock Instrumental, HR/HM, Rock, Classic Rock, POPS, J-POP, J-ROCK, Altanative Rock, Comtemporary Pop/Rockなど。毎日行われている様々なジャンルやスタイルの課題曲から週2回選んで出席する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	講師が用意する譜面				

専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

授業科目名	Bass Style Selection I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則別表上表記	Bass Style Selection I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	54回(108単位時間)	年間単位数	3単位
科目設置学科コース	ベースコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	受業の内容に応じた現役プロの講師				
<b>授業概要</b>					
自身の望むスタイルに必要な授業を選択し、受講する。					
<b>到達目標</b>					
自身のスタイルの確立。 確立したスタイルに対するスキルの習得、向上。					
<b>授業計画・内容</b>					
【前期】 1～18回目	選択授業① 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
【後期】 1～18回目	選択授業② 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
【後期】 1～18回目	選択授業③ 別途提示される授業の中から必要な授業を選んで受講する。				
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
使用教科書	選択した授業ごとに資料を配布。				